



2026年5月25日

各 位

会 社 名 株式会社早稲田アカデミー
代表者名 代表取締役社長 山本 豊
(コード番号 4718 東証プライム)
問 合 せ 先 執行役員管理本部長 関 俊彦
T E L 03-3590-4011

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社グループは、「本気でやる子を育てる」という教育理念のもと、成績向上と志望校合格という進学塾としての「本来価値」と、子どもたちが受験勉強を通じて「その後の豊かな人生を送る礎となる姿勢と能力を身につける」当社独自の「本質価値（ワセ価値）」を両輪に、質の高い教育サービスの提供に努めてまいりました。

新たな成長ステージへの移行を見据え、2027年3月期から2029年3月期の3カ年を対象とした中期経営計画を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画の概要

当社グループは、「日本一の民間教育企業」になることを長期ビジョンとして掲げ、まずは「日本一の学習塾」を目指してまいります。

これまで取り組んできた基本戦略「合格実績戦略」を基軸に、以下施策を推進してまいります。

【事業戦略（3本の柱）】

- ① 標準校舎（中高受験集団指導型校舎）のさらなる伸長
- ② 大学受験部門と個別指導部門の強化（LTVの最大化）
- ③ インオーガニック領域の拡充促進

【機能別戦略】

- ① 人的資本戦略
- ② DX戦略
- ③ 財務戦略

2. 事業戦略

- ①標準校舎（中高受験集団指導型校舎）のさらなる伸長

確固たる地位を確立している首都圏難関高校入試合格実績に加え、首都圏の難関中学受験において「早稲アカが第一選択」となるように注力し、さらなるシェアの拡大を目指してまいります。

- ②大学受験部門と個別指導部門の強化（LTVの最大化）

売上高構成比率として伸びしろの大きい「大学受験部門」と「個別指導部門」において、

「標準校舎との連携」を強化する“逆L字強化戦略”を推進し、サービス品質の向上と成長スピードの加速に注力してまいります。

③インオーガニック領域の拡充促進

中長期ビジョンの実現に向け、相互にシナジー効果が期待できる学習塾との補完によるエリア拡大や幼児から社会人までの各ライフステージにおけるサービス展開によるLTV拡大、DX基盤拡大による成長施策の実行など、3つの切り口でM&Aやアライアンスを積極的に検討し、成長投資を加速させてまいります。

3. 機能別戦略

①人的資本戦略

戦略的な人的資本投資により、職員の待遇向上や教育研修制度の拡充を図り、価値提供力を高めていきます。加えて、卒塾生をはじめとするアルムナイネットワークの基盤構築により、優秀な人材を確保する体制を強化いたします。

②DX戦略

ICT環境の拡充とAI活用の推進を図り「改善のためのIT」から「変革のためのIT」への段階的移行を進め、顧客体験と生産性の両面から価値創出の最大化に努めてまいります。

③財務戦略

営業キャッシュフローと手元現預金を活用し、既存事業への投資に加え、人的資本戦略やDX戦略の基盤構築、M&A等のインオーガニック戦略等の成長投資を積極的に検討いたします。また、株主還元については、安定配当の維持を基本としつつ、配当性向50%以上を目指し、収益状況に応じて配当水準引き上げを検討してまいります。

4. 連結業績目標

	2027年3月期	2028年3月期	2029年3月期
売上高	405.2億円	430.0億円	460.0億円
経常利益	42.7億円	45.0億円	47.0億円
経常利益率	10.5%	10.5%	10.2%
ROE	15.9%	16.2%	15.6%

(注) 上記の業績目標等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により目標数値等とは異なる場合があります。

当社グループは、本中期経営計画の着実な実行により、持続的な業容拡大と企業価値向上を実現してまいります。

※ 中期経営計画の詳細につきましては、下記リンク先よりご参照ください。

https://ssl4.eir-parts.net/doc/4718/ir_material2/99990/00.pdf

以 上